ちょうふの自然だより

2 世紀 2012. 7

発行部数:1000部













どころに白花 ウなどが見える。 サの間を飛び回 とムラサキツメカ 黄色いコウゾリナ すり抜けるヘビや とイモカタバミを モカタバミも咲 バミだが、ところ イモカタバミは濃 いピンク色のカタ スジグロシロチ イクリングロ から斜面を覗く



ワンド





日活撮影所

サイクリングロード

府中用水 ちょうふ市民広場



少し上流には 二ケ領上河原堰があり アユの遡上が 見える魚道がある

ます。

いと思います。

(緑と公園課)



市民広場から草原へと降りた先に ワンドへの目印になる大きな石がある。 ここからカワセミや魚の溜まり場 となっているワンドへ降りること

えてくる多摩川自然情報館には ロードへ。上流へ少し戻ると見 ると、畑のある懐かしい雰囲気 ハルシャギクの花畑の先はクズ プをのぼって再びサイクリング 一面にはびこる。 土手を降りると帰化植物の 府中用水の排水樋管を過ぎ その先でスロー 下流へ向 か



サイクリングロード と河原をつなぐスロー

に実施。 ジボ 布市野草園では、 メボタル 野草園のホタル 0) 風

環境等に左右されるため夜間 乱舞を観賞して頂くことがで 4月中旬水路に放流したとこ かけ園内の水路清掃を実施し きました。昭和59年から毎 ゲンジボタルの育成を行っ の職員が試行錯誤を繰り返し み緑と環境の大切さを知っ は冬に見られるそうです。▽調 通り秋に、イリオモテボタル 対馬のアキマドボタルが名前 生息しています。ホタルは夏 本には40種類以上のホタル てホタル に調査をするなどして決定し きました。鑑賞日は天候・温・ した。▽今年は6月1 の生育が悪く開催を中止しま 残念ながらここ2年間は成 観賞会を実施してきましたが、 頂くため昭和52年以来、 に発生すると思われます 最大35匹のホタルの光の タル・ヘイケボタル・ 来年も職 1月下旬から2月に の乱舞をお見せし が代表的ですが、 物詩ホタルは、 員 自然に親し 同 日 3 日 頑張っ 多く ゲ が 度 虫 が ヒ

生調布の

活撮影所

虫編

活していた。

24の気の夏至の末候に「半

季節の移りを感じ取って生 が定められ72もの細やかな による太陰暦によって月日 陽暦)では、月の満ち欠け されるまでの旧暦(太陰太

戸部英首(絵・文)



Pinellia ternate Thunb.

花の履歴

カラスビシャク (烏柄杓) サトイモ科

裕ができたおかげで、カナブンやア 咲きました。今年は少し観察する余

ブなど花を訪れる虫たちを写真に撮

ることができました。

ラン科の花は、

花粉を運んでくれ

古い時代に中国から薬草と ないとされている。 した史前帰化植物かも知れ 草として扱われているが、 塊茎を乾燥させたものを て導入されたものが逸脱 玉 の畑や路傍に生える雑

思えます。

くっつくのが難しいのではないかと

は開きが悪くて、

花粉が虫たちに

キンランの花は少なくとも咲き始め

てきたと言われます(共進化)。でも、

る昆虫と互いに関係しながら進化し

せつがあり、

さらにそれぞ

季のほかに、

24の気というき

 \exists

一本には、

春夏秋冬の

兀

れの気を三つに分けた候と

(1872) 6 いうのがある。

「改暦詔書」が出

明治5年

半夏 で、 効能がある。 吐き気や嘔吐、 トウ)は胃腸の働きをよく 夏瀉心湯(ハンゲシャシン 本薬局方に収録された生薬 食欲不振や胃もたれ、 漢方方剤に配合した半 (はんげ) と呼び、日 下痢などに

あり、 経や筋肉を麻痺させる作用 い方がよい。 から、素人判断で服用 コニインが含まれ、 分 (アルカロイド) 強い辛さとえぐ味があ 塊茎を生で口にする 内炎を起こすという が含まれ、中枢神が含まれ、中枢神が

5月6日撮影

農家の休息日で、各地にい

夏至から数えて11日目が半 が生え始める頃を意味し、 り、ハンゲ(カラスビシャク) 7月の1日~6日頃にあた 夏生ず」がある。新暦では

しかし、

開いて、

手前に張

花の終わり頃になるともっと花が 唇弁(しんべん

り出しているように見える花弁)に

付着しやすくなるようです 虫たちが乗りやすくなって、

田植えを済ませた

を聞いたことがある。 い稼ぎをした古老たちの話 物なので、古くは農耕のつ いでにそれを採集して小遣 どこにでも生えている植

ぼから天に昇って帰って行

神が田植えの終った田ん

雨ならば半夏雨といい、田 の豊作を占うが、この日が 一つ、この日の天気で一年 ろいろな行事がある。その

は日本列島の全域から朝鮮

カラスビシャク(ハンゲ)



葉地域のランたち

もらって樹木から栄養を受け取っ 樹木との間にこうした関係がある ブナ科ブナ属・コナラ属

・ンラン、ギンランの果実

キンランを訪れる虫たち

今年も「若葉の森」にキンランが

とつの果実の大きさはキンランの この近くの個体を見る限り、 みえます)。 てしまったような花柄の切断面が が少なくなっています(花が落ち と果実の数がほぼ同じのようです は5月3日に撮影。ギンランは花 同じ個体で、花は4月30日、 しかし1ヶ月後には、 花が終わると影が薄くなります。 者だったキンラン、ギンランも、 傾向があります。ただし、一つひ た果実を付けていました。写真は 万がずっと大きいです ひとしきり「若葉の森」の キンランは花よりも果実の方 断定はできませんが、 しっかりし 同じ 果実

ノン菌が無くては育たない

貯蔵器官がありません。 もあることが分かってきました。 菌根菌(がいきんこんきん)」で 類は、樹木から養分を得ている「外 るのですね。そして、このラン菌 根菌(ランきんこんきん)」とい 芽して成長するためには「ラン菌 になっていて、 種子をつくるかわりに簡単な構造 いるそうです。でも、 種子が数万から数十万個も入って う菌類から養分をもらう必要があ ランの果実には、 つまり、ランは菌類に仲介して 胚乳という養分の すごく細かい たくさんの それで発



ギンランの実



ギンランの花



キンランの実



キンランの花

果実がはじけ、 があることを祈りつつ、 子たちに菌類との いけるということですね。やがて れた菌類のネットワークによっ そうです。森の地下に張り巡らさ と思います キンラン、ギンランは生きて 散らばっていく種 「いい出会い」 見守りた 大村哲夫

全活動の成果だとしたら 拡大しているようで、 べて株数も生育エリアも ができました。昨年に比 ラン・ギンラン見ること ので、コンポスト柵の囲

若葉の森で歌う会

(第6回)

5月13日 (日)

晴れ

ランが生育場所を拡げて、保護用に設けた

危惧種)が咲きました。第1緑地ではギン

今年もキンラン・ギンラン(東京都絶滅

地ではシュロ・アオキ

の伐採を行いました。

5月6日(日)晴れ 参加者9名

3·1个

コンポスト柵横中央に

木を埋めました。

土留め兼階段

(3 段) 第2緑

作りました。

コンポスト柵の外側にも顔を出してくれた

いを拡大しました。第2

地では、群生したキン

6月3日(日)うす曇り 参加者9名

第一緑地では、コンポスト柵内の整備、

した。 (K)

5月13日(日)参加者13名

げを作りました。 業ですが、竹の節を利用して輪投 根堀、竹の名札作りといつもの作 んでからの作業開始となりました。 この季節には珍しく真っ白な富士山を望 小木の間伐、アオキの

を超えるキノコを見つけ、ておいてもらいたいアミガサタケなど30種類、発見。気持はわかりれます。また、今年は、、捕獲した痕跡を多数れます。また、 ました。アゲハ、クロアゲハ、アオスジアゲ ハなど多くの昆虫も見ら・・・・ ていましたが、数株の花に出会うことができ **ノランの生育状況を皆で確認。花盛りは過ぎ** 息ついてから、緑地内外のキンランとギ

5月24日(木)参加者4名

ルーを望 シ **6月10日 (日) 参加者8名**はカ を迎える前に緑地内の草刈りと掃除を行いた力を迎える前に緑地内の草刈りと掃除を行います土を耕してくれる中間である前を確かます。

6月21日(木)参加者6名 口が花盛りです。

ように、土留め用の横 地内の土が流出しない 刈り。また、雨水で緑 製の名札を樹木に掛け 事前に用意出来た竹 小木の伐採と草

(住田

6月17日 (日)

曇り

参加者5名

5月20日 (日) 晴れ、参加者8名

バシイ広場の山を片づけた。 み上げていたスタッキングの山2つとマテ 一手に分かれ樹林地奥のツバキの森に積

の片づけを再度市に依頼。

同じ国分寺崖線

の若葉の森でキンラン・ギンランが増えて

シール貼り。4月から積まれている伐採枝

イレブン財団助成金で購入した双眼鏡

業者に伐採を依頼する木の決定。

セブン

葉と枝にわけること、スタッ なった。枝等の伐採時には けがはかどり見通しがよく 小学生2人の手伝いで片づ

認。2年前に刈ったサネ キングを残さないことを確

エゴの花 の草刈り、落ち葉だめにた 測し続けることにした。 の違いを照度計を活用し計 月は民家に挟まれた三角地 いるというので、植生環境

7

アジサイが見頃に

カラ、ヤマガラ、ヒヨドリ。 ルジオン。鳥はシジュウ ゴの花、スイカズラ、ハ ある。花はカタバミ、エ るので伐採作業が必要で カズラが繁茂してきてい

見頃。他にドクダミ、ナ まった枝の処分をしていく。 ンテン、ムラサキシキブ、 花はアジサイがようやく ス。(安部) ロ、シジュウカラ、 ハルジオン。鳥は、

5月12日 (土) 晴れ

用のひしゃくも製作。 数が多く大変だったが、 支柱と名札用の竹の細工を行った。かなり 翌日の「甦れ!雑木林」の植樹の準備。 環境フェアに出品

モニカなどの伴奏もあ り、多彩になってきま れました。フルート、 気持ち良く16曲が歌わ 独唱もあり、森の中で キーボードに合わせて

ギター、カホン、

う会」が開催されました。約3名の参加で、 5月20日 (日)、第一緑地で「若葉の森で歌 タッフ11名 環境市民会議とのコラボイベント

から丁寧に取り出したコナラやムクノキ、 以上の苗を植えることができた。竹ポット 生苗を持参してくださった方も多く、40本 3」を開催した。前回参加し、芽生えた実 れ!雑木林(どんぐり)の森づくりパート コブシなどの苗を並べて植えた。支柱で囲 たちには大変な作業だったが楽しんで 草むしり、 ロープ囲い、 看板制作と子

参加者30名+ス らえれば大成功と言 や周辺の観察会をや などの世話をしても 後も見守りと草取り える。8月には苗木 で、アンケートの評 判も上々だった。今



る予定。 6月9日 (日) 雨 参加者8名

しまったが小さな苗 コナラ



は残念ながら枯れて で草の除去を行っ ズのクヌギ、 た。身長ほどのサイ たが小さな苗が心配 あいにくの雨だっ

は元気。 (鍛治)

市民活動の記録こーな

雜木林塾中級講座

環境そして管理方法 月2日に開催され 体験者向け講座が6 について」 不林における人為と 雑木林保全活動 タイトルは「雑

照度の計測を通して のあり方を探った。 団体にあった雑木林 それぞれの場所や各 るよう、土壌硬度と ている人に指針とな 保全活動をおこなっ 市内外の樹林地



が生育している。

環境市民会議 事務局

の体験が始まった。 の協力で稲作作り 家やボランティア

> 交流にもなり実り多い講座に またそれぞれの団体同士の

> > 6/1 我家のカツラの木でお昼寝中のよう

です。キマダラヒカゲの♂だと思いますが、

「サトキマダラ」なのか「ヤマキマダラ」なの

山中式硬度計は

こうやって使います

根本講師



どもたちに観察の機会を作ってあげても良かったので ない現象・・・と思うと、もっと積極的に、学校で子

※7月14日(日)

は「ドングリの森

●8/11(土) 10:00~12:00

7/14(土) 10:00~12:00

づくりパート3」で植樹した実生木

はと思います。

T

物もいませんでしたので、あまり感じませんでした。

すという話もありましたが、手近に(人間以外の)動

お金をかけて遠くに行かない限りは、

もう一生見られ

を行っています。野草園横直接集合 毎月第2土曜に自然広場で保全活動 ほどは暗くなりませんでした。動物も異常行動を起こ

ていましたが、少し暗くなっただけで、予想していた

/12金環日食も、皆既日食同様、

暗くなるかと思っ

や照度計で測定しながら、 深大寺自然広場では硬度計 実

認。当然のことながら明るけ それぞれの環境に合った植物 れば良い、という訳ではなく 際の数値と自分の感覚を確

でしょう。 きく立派なのでこの時期を楽しみに パッとしないようですがどうしたの していますが、ここ二、三年どうも じでした。ここのヤマボウシは、花 総苞)が真っ白で大きく樹形も大 TS

か…。 6/2 くっていました。場外にも!昨日は人も少なく、 2年続きで見れなかったので、今年は最高でした。 以上(数百匹近い)のホタルをゆっくり観賞できました。 深大寺近辺にも色んなチョウがいるの すごい!ですよ。 昨日、野草園のホタル鑑賞に行ってきました。 S N 探す必要のないほど飛びま

NI

042-481-7083

は緑と公園課へお問合せ下さい。

*先の4つの活動への参加、

その

6.20 春の嵐の翌日 苗のようす見をする 富士見台小児童





中から時折木くずを押し出してます。(NK) な大きな穴を開けるなんて。いまだに穴の

5/31 今朝「ヤマボウシ」の様子を見に佐須街道の ずなのに花付きがもう一つという感 長かったせいでしょうか最盛期のは **狛神社に行ってきました。寒さが** 手入れもします。 の観察と、育成のための草刈などの

町3丁目第3緑地で保全活動を行っ ています。 原則毎月第2日曜と次の木曜に若葉 参加希望者は直接現地へ

7/8(日)・19(木) $9:30 \sim 12:00$

8月はお休みです。

次は9月2日になります。 1・2緑地で保全活動を行っていま 原則毎月第1日曜に若葉町3丁目第 8月と1月の活動はお休みです。 7 / 1 参加希望者は直接現地へ。 (田) 9:30~12:00

ふの自然だ ち 市民発

◆「ちょうふの自然だより」はカンパとボランティアで支えられています。 2009.3.15 に設立された市民団体「ちょうふ環境市民会議」が発行していま 隔月で1000部発行。調布市内の身近な自然情報や市民の保全活動 の記録、環境イベント案内、コラムなどを掲載。市民会議ホームページにバッ クナンバーを掲載しています。 併せてご覧下さい。

'自然だより" の置き場所:地域福祉センター、たづくり 11F みんなの広場、 調布市環境部 (市役所8F)、市図書館 10 館、あくろす 2・3 F、郷土博物館、 実篤記念館、多摩川自然情報館のほか、ぬくもりステーション、 みさと屋さん、横浜銀行調布支店など。 置き場所&応援カンパ募集中です!

発行:ちょうふ環境市民会議 連絡先: info@chofu-kankyo-shimin.org

環境市民活動スケジュー

入間・樹林の会

を行っています。参加希望者は直接 原則毎月第3日曜に樹林の保全活動 人間地域センター

●8/19(日)9:30~12:00 7/15(日) 9:30~12:00

カニ山の会